



ScanSurveyVC Version 6

新機能紹介

ScanSurveyVC Version 6 更新内容

ScanSurveyVC が Version 6 にアップデートしました。

新しくなった ScanSurveyVC Version 6(以下、VC6)の新機能や変更点を紹介します。

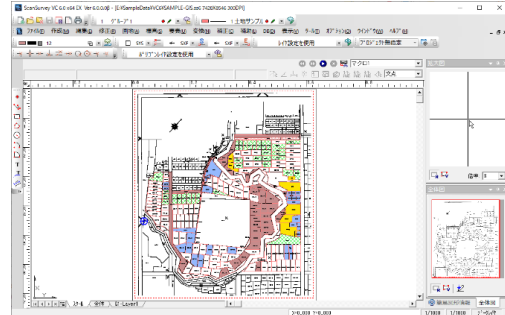
詳細については後のページを参照してください。

ScanSurveyVC Version 6 更新内容	2
ユーザーインターフェース (UI) の変更	3
ツールのカスタマイズ性が向上	5
ScanSurvey Z の連携に対応	9
地理院地図入力・OSM 入力の追加	11
GIS・GPS・GPS カメラ標準搭載	13
その他の改善点・変更点	13

ユーザーインターフェース (UI) の変更

ユーザーインターフェース (UI) の変更についてご紹介します。

VC6 ではカスタマイズ性が高くなり、作業工程に合わせてワークスペースを自由にカスタマイズできます。
より使いやすいワークスペースの実現が可能です。



アイコンを新デザインに変更

よりわかりやすくシンプルな
アイコンデザインに改良しました。

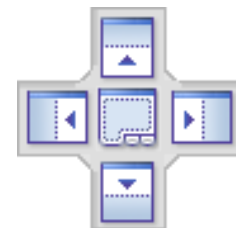


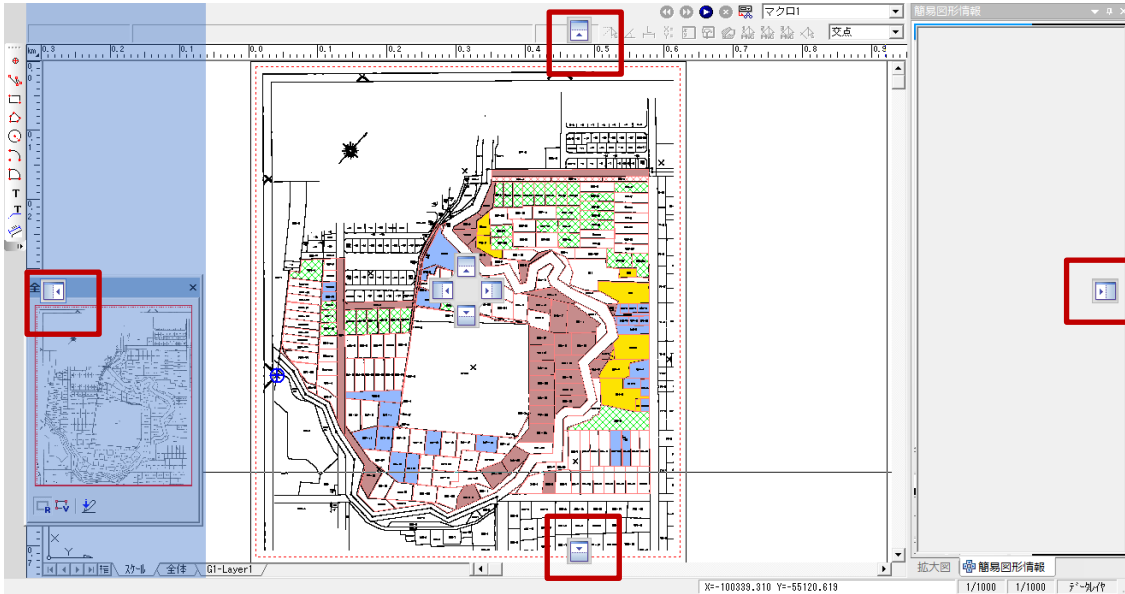
マルチドッキングを採用

ウィンドウを自由に配置できるマルチドッキングを採用しました。

配置方法

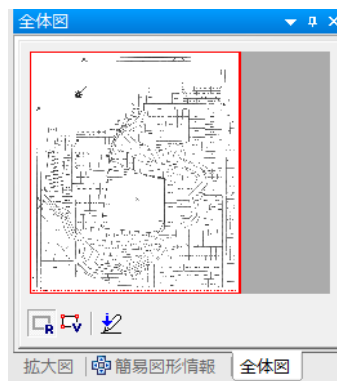
- 1) 配置したいウィンドウのバーを選択します。
- 2) バーをドラッグすると右図のようなアイコンが表示されます。
ドラッグでウィンドウを任意の上下左右に移動してドロップで配置します。
配置できる箇所は青色で表示されます。





ウィンドウの並列化とグループ化

既に配置しているウィンドウを重ねると、並列化やグループ化して配置することができます。

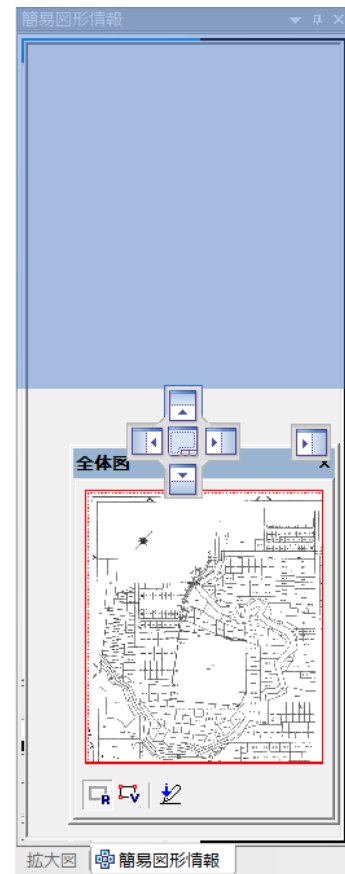


並列化

既に配置されているウィンドウを重ねると、配置できる箇所は青色で表示されます。任意の場所にウィンドウを配置し、並べて表示することができます。

グループ化

既に配置されているウィンドウのバーを重ねると、グループ化することができます。グループ化ではタブでウィンドウを切り替えることができます。



ツールのカスタマイズ性が向上

ツールのカスタマイズ性が向上しました。

[表示>ツールバーとドッキング ウィンドウ>**カスタマイズ**]、または[ツールバー上を右クリック>メニュー表示>**カスタマイズ**]で、ツールのカスタマイズが可能です。

[カスタマイズ]ウィンドウを開くと、メニューやツール項目を直接編集できるようになります。

直接編集では既存メニューにコマンドを追加することができます。

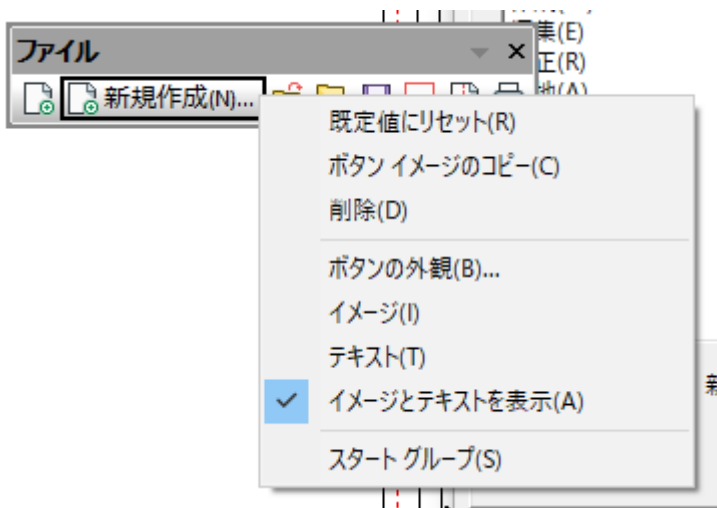
さらによく使用するコマンドのみを集めた自分だけの新しいメニューやツールバーを作成することも可能です。

※ 一部のツールバーはユーザー定義で設定項目を有効にしないと表示されません。
[使用するツールバーの確認(P7)]をご確認ください。

編集中の右クリックメニュー

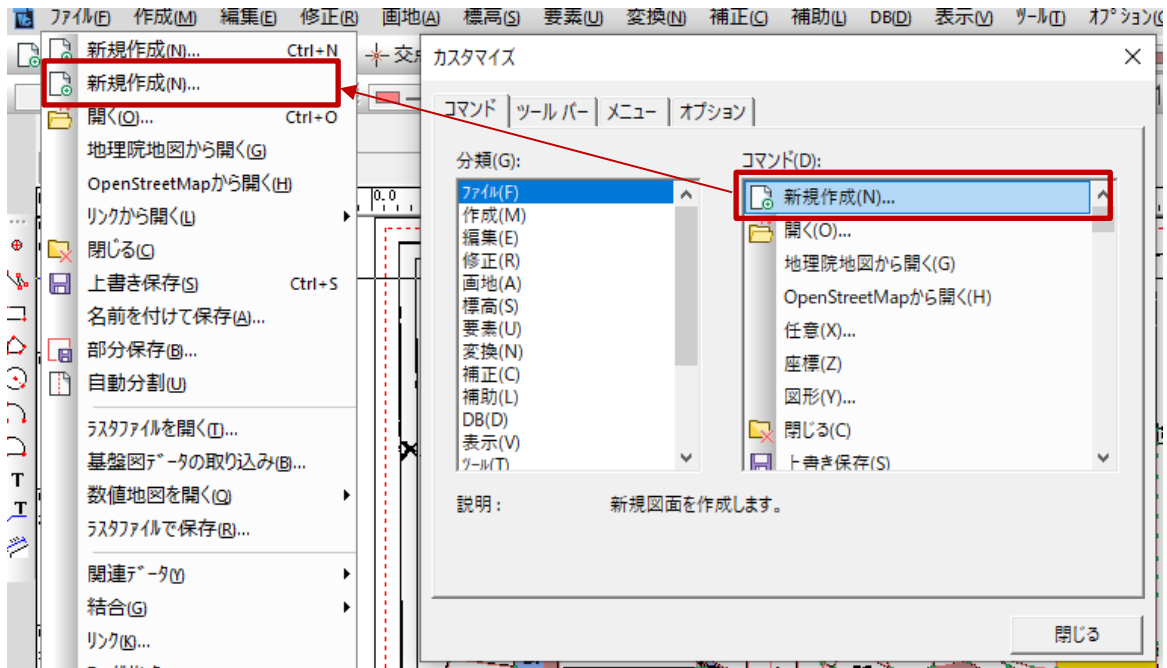
コマンド編集中の右クリックメニューで各コマンドの設定を変更できます。

アイコン表示のみでは操作かわかりにくい場合など、「イメージとテキスト表示」や[テキスト]を選択することで、表示を変更することができます。



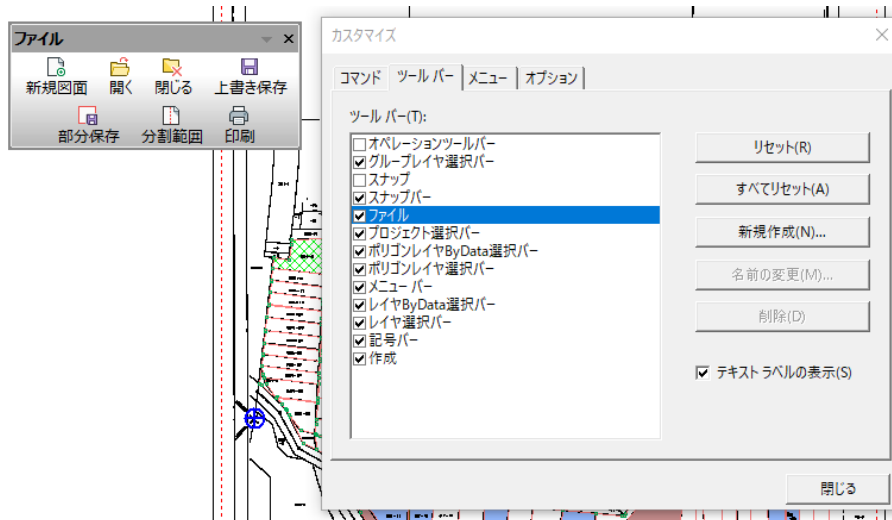
コマンドのカスタマイズ例

- コマンド欄から項目を選択し、ドラッグ&ドロップでメニューやツールに項目を追加
- メニューの不要な項目を削除
- メニューの入れ替え
- 新しいメニューを作成
- ツールバーの表示方法を変更



ツールバーの表示設定

[…カスタマイズ>ツールバー タブ]で、ツールバー項目のチェックボックス オン/オフで、表示するツールバーを選択することができます。



リセット

選択した項目をリセットします。

すべてリセット

カスタマイズしたすべてのツールバー及びメニューをリセットします。

新規作成

ツールバーを新規で作成することができます。

名前の変更／削除

新規作成したツールバーの名前変更、削除することができます。

テキストラベルの表示

ツールにテキストラベルを追加します。

使用するツールバーの確認

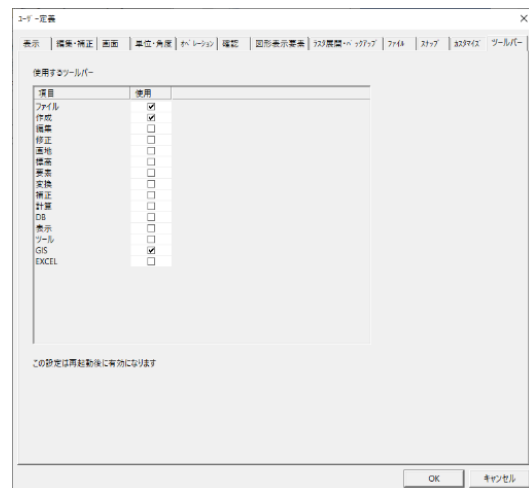
一部のツールバーは初期設定で無効になっている場合があります。

ツールバーカスタマイズの設定前にユーザー定義を確認します。

[ツール > ユーザー定義 > ツールバー タブ]で、設定されているツールバー項目を確認します。

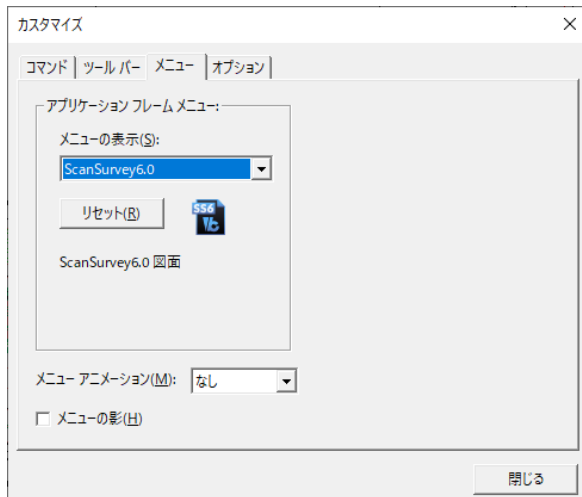
チェックボックスがオンになっている項目がツールバーで設定が有効になります。

項目の変更は、VC6 再起動後に有効になります。



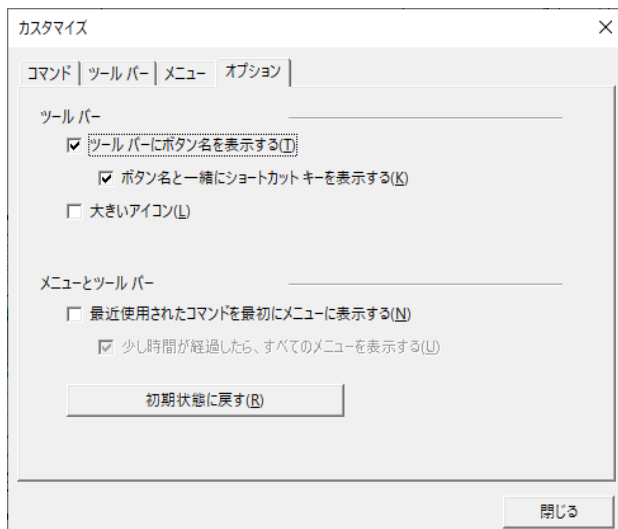
メニューの表示を変更

[… > カスタマイズ > メニュー タブ]で、メニューの表示を変更することができます。



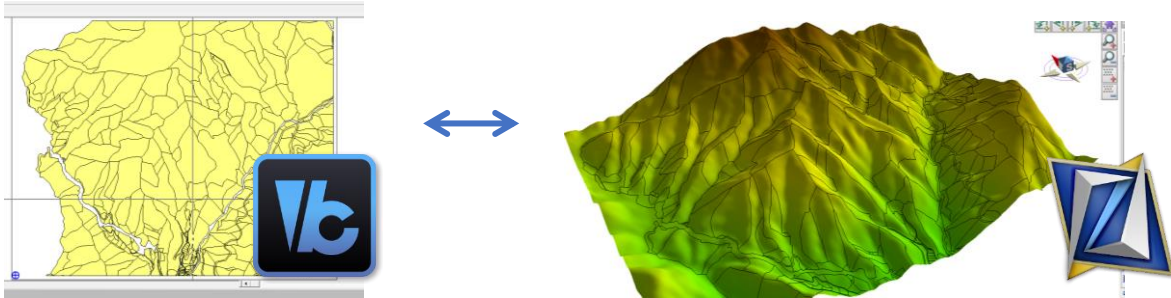
ツールバーとメニューのオプションを変更

[… > カスタマイズ > オプション タブ]で、ツールバーやメニューの表示を変更することができます。



ScanSurvey Z の連携に対応

ScanSurvey Z の連携に対応しました。



VC6 で指定したデータを ScanSurvey Z と連携し表示することができます。

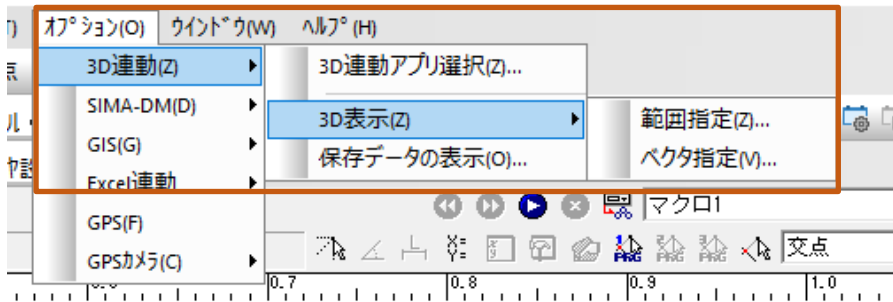
ScanSurvey Z では 3D 表示、TIN 作成、断面計測が可能になります。

※ ScanSurvey Z アプリケーションをあらかじめインストールする必要があります。

VIEWER 版でも連携可能です。

3D 連携の項目説明

[オプション > 3D 連携] から 3D 連携機能を使用することができます。



3D 連携アプリ選択

ScanSurvey Z 及び ScanSurvey Z VIEWER を選択します。

3D 表示

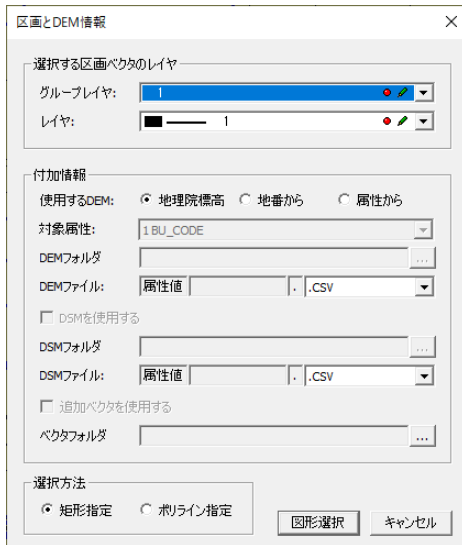
3D 表示したい範囲を指定すると選択した 3D 連携アプリを起動します。

範囲指定

国土地理院の標高メッシュを使用します。

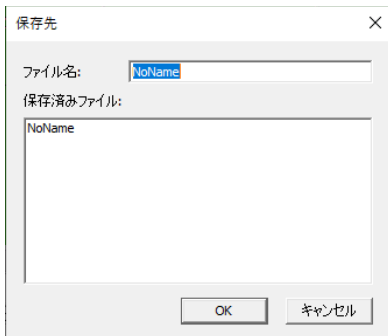
ベクタ指定

区画と DEM（数値標高モデル）情報から指定します。



保存データの表示

3D 連携アプリで保存した場合、データを開くことができます。
再度取得する必要はありません。

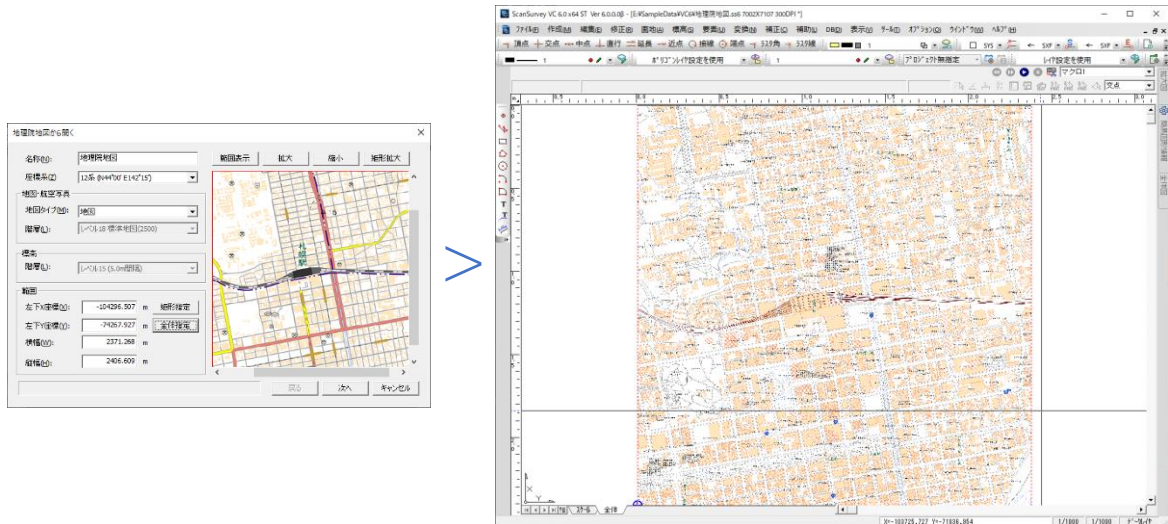


ScanSurveyZ(VIEWER)連携手順

- 1) [オプション>3D 連携>3D 連携アプリ選択]で、ScanSurveyZ(VIEWER)を選択します。
- 2) [オプション>3D 連携>3D 表示>範囲指定/ベクタ指定]で、3D 表示したい範囲を指定します。
- 3) 範囲を指定すると ScanSurveyZ(VIEWER)が起動します。
- 4) 必要に応じて保存します。ScanSurveyZ で保存すると、VC6[保存データの表示]で表示することができます。

地理院地図入力・OSM 入力の追加

地理院地図入力・OSM (OpenStreetMap) 入力を追加しました。
地理院地図・OSM を読み込んで VC6 で開くことができます。



ウィンドウの項目説明

名称

ファイル名を入力します。

座標系

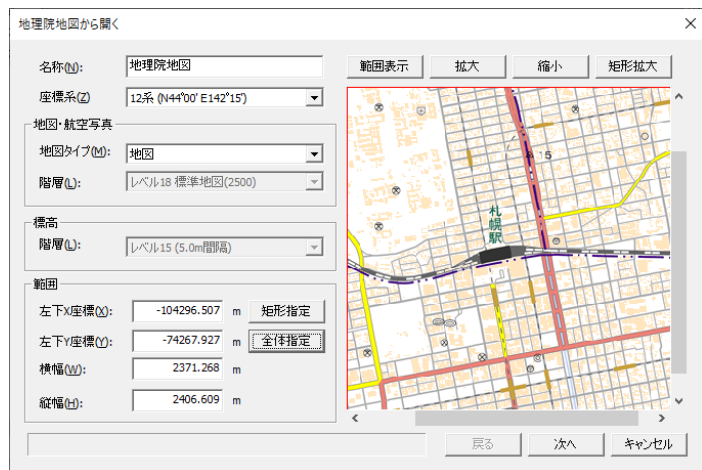
読み込みたい座標系を設定します。

地図・航空写真

地図タイプや階層を設定します。

範囲

読み込みたい範囲を設定します。
値を入力、または[矩形指定]や[全体指定]で地図上から範囲を設定することが可能です。



地理院地図/OSM の読み込み方

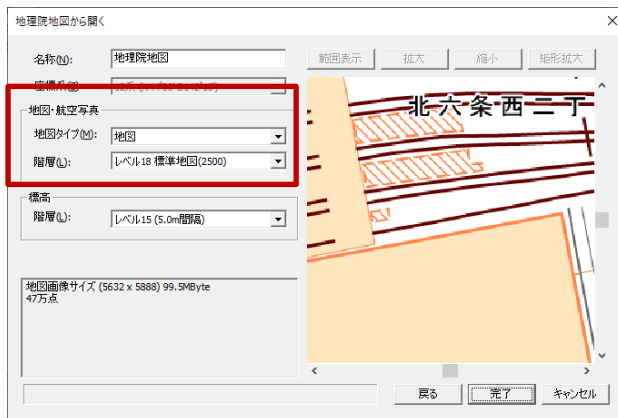
- 1) [ファイル>地理院地図から開く]、または[OpenStreetMap から開く]を選択して、ウィンドウを開きます。

※ 以下は[地理院地図から開く]を例にしています。

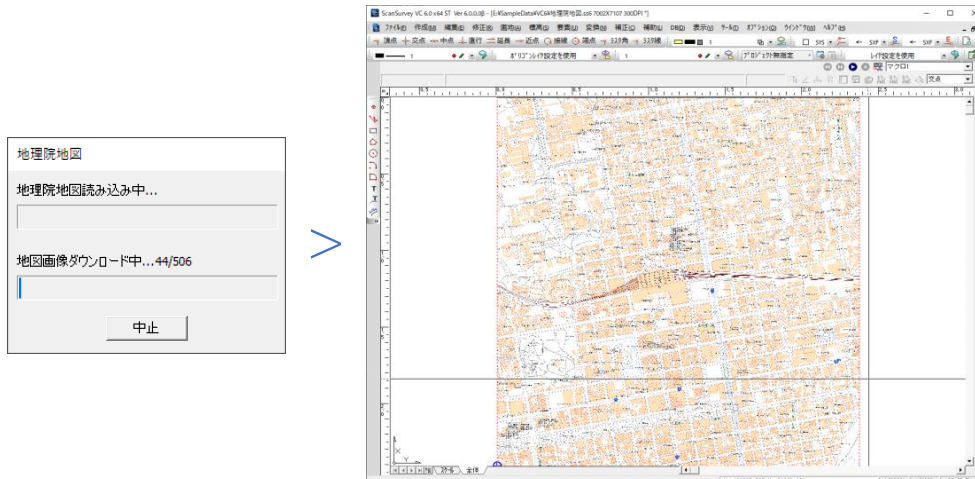
- 2) [名称]、[座標系]、[範囲]を設定します。



- 3) [次へ]をクリックすると、地図タイプと階層の設定をプレビュー表示します。地図タイプや標高間隔を設定します。



- 4) [完了]をクリックし、地理院地図を読み込んで表示します。



GIS・GPS・GPS カメラ標準搭載

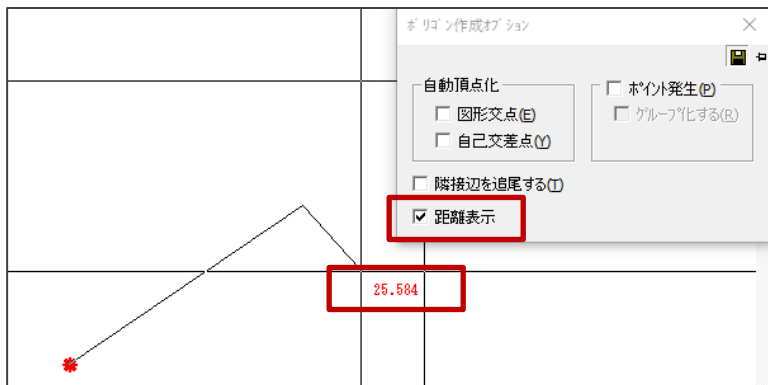
VC5 ではオプションだった[GIS]・[GPS]・[GPS カメラ]機能が標準搭載になりました。
機能につきましては、VC5 のマニュアルを VC6 に置き換えて参照してください。

その他の改善点・変更点

その他、ご指摘いただいていたいくつかの機能改善や仕様変更、不具合を修正しました。

ポリゴン・ポリライン作成時に、距離表示

ポリゴン・ポリライン作成時に、[距離表示]を追加しました。



初期設定でのメニュー表示縮小

初期設定ではよく使用する機能を中心に最低限表示に設定しています。

[ツール>ユーザー定義>ツールバー タブ]より必要な項目の設定を有効にしてください。

寸法線の仕様変更

上下、左右を簡単に換えられるようになりました。

- [作成>寸法線>水平・垂直]

図面余白調整

図面の余白調整の単位を mm 単位でも可能になりました。

- [ファイル>図面の余白調整]

64bit のみ対応

64bit のみ対応になりました。

設定ファイル等は全て[環境フォルダ]に入っています。

